

# [年賀状の準備、Fall Creators Update の概要]

2017年11月25日 河出 修

## [年賀状の準備]

### 1. 「筆まめ」について

年賀状や暑中見舞い等は、パソコンで作成・印刷するのが当たり前の時代になってきました。今回は「筆まめ」の「Ver.27」を取り上げて年賀状作成の基本的なことを説明します。

### 2. 「筆まめ Ver.27」の起動

- 「筆まめ Ver. 27」のショートカットをダブル・クリックする。
- 「オープニングメニュー」画面が表示される。→「宛名面を作る」をクリックする。



### 3. 差出人の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「差出人を作成・編集する」ボタンを押す。
- 差出人の住所、氏名、電話番号、E-mail等を登録する。
- 差出人は5種類登録でき、その中から選択できる。(個人、夫婦連名等)

### 4. 宛名の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「新しい住所録を作る」か「保存した住所録を開く」ボタンを押す。
- 「氏名(N)」欄に氏名を入力し、「敬称(K)」を選ぶ。(フリガナは自動付与される。)
- 「〒(Z)」欄に郵便番号を入力すれば、「住所1(1)」に自動変換される。「住所1(1)」の後部、または「住所2(2)」に続きの住所を入力する。

## ●宛名入力画面

## ●宛名印刷イメージ



## 5. 「デザイン面を作る」を開く。

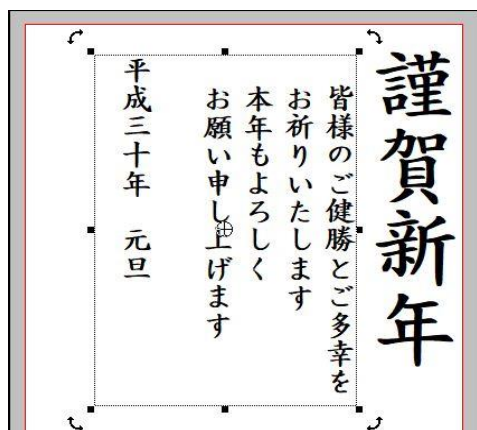
●「オープニングメニュー」画面が表示される。 → 「デザイン面を作る」をクリックする。



## 6. 背景の設定

●「デザイン面を作る」タブ → 「収録サンプルから開く」ボタンを押す  
 → 「筆まめカテゴリ」タブを押し → 「03 年賀背景(縦)」を開く  
 → 「背景(縦)」を開くと「背景画」が表示される。 → 「好みの背景」を選択する。

## 7. 文面ファイルへの文字入力



- 「文字・文章の入力」欄の中の「文章」を選び、入力範囲を設定する。
- フォントや文字サイズ等を設定する。
- 設定した入力範囲に文章を入力する。
- 入力範囲が「イラスト・写真」と重なる場合は「重なり順」→「最前面へ」に設定する。
- 「定型文章」を利用することもできる。
  - 文章が苦手な人も安心。「定型文章」を多数収録。
  - 年賀状に添える一言の文例「定型一言」を100点収録。

## 8. 文面データへのイラスト、写真入力



- 「画像の貼り付け」欄の中の「イラスト・素材ボックス」を選ぶ。
- 入力するイラストまたは写真を選択し、ダブルクリックで取り込む。(左上に取り込まれる)
- イラスト、写真の位置を調整すれば完了です。
- 「イラスト・写真」文章と重なる場合はと重なる場合は「重なり順」→「最背面へ」に設定する。
- 写真加工用新機能
  - たくさんの写真をセンスよく演出！「フォトコラージュ」
  - 写真がかんたんに切り抜ける！「フォトカッター」
  - 「クローンブラシ」
    - ・複数写真の「いいところ」を取って別の写真に貼り付け
    - ・余分なものが簡単に消せる
  - 写真をおしゃれに加工できる！「筆まめフィルタ」
  - 写真をキレイに補正・加工！「筆まめレタッチ」

- 内蔵イラストや写真で満足できない場合は、インターネットのダウンロードサイトを利用可能。(ただし、ダウンロードサイトには「有料」の場合があるので注意が必要)
- 無料のダウンロードサイトの例 (Canon Creative Park)  
<http://cp.c-ij.com/jp/categories/CAT-ST01-0174/top.html>

## 9. 文面ファイルの保存

- 「保存」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 「ファイル」→「名前を付けて保存」→「保存場所」と「ファイル名」を指定する。

## 10. 他形式の住所録ファイルの変換

- 「宛名面を作る」タブ → 「他形式の住所録を開く」ボタンを押す。
- 「筆王」、「筆ぐるめ」の変換や「他の形式」の変換が可能。
  - ・「他の形式」→「Excel」、「Outlook」、「筆自慢」、「宛名職人」、ウインドウズアドレス帳 等が変換できる。

## [Windows 10 Fall Creators Update の概要]

1. 「Windows 10 Fall Creators Update」は 2017 年 10 月 17 日に公開された。
  - バージョンNO.は「1709」です。(前回 2017年4月 に公開されたものは、バージョンNO.は「1703」)
2. 「Windows 10 Fall Creators Update」の主な新機能
  - (1) ユーザーインターフェース
    - ・Fluent Designの採用(スタートメニュー、電卓アプリなど): 背景がうっすらと見え、奥行きを感じさせる。
  - (2) ストレージ
    - ・OneDriveのファイルのオンデマンド、ストレージセンス(PC本体のストレージの節約)
  - (3) スマートフォン等との連携
    - ・スマートフォンとの連携機能(スマホとPCで連続してWeb画面が見られる)
    - ・MR対応: 現実世界と仮想世界を融合させた映像を作り出す技術(複合現実)、別途眼鏡型機器が必要
  - (4) グラフィック関連
    - ・フォトアプリの「ストーリーリミックス»: 動画や写真を組み合わせて動画を自動的に作成する機能。
  - (5) コミュニケーション
    - ・My People(連絡先をタスクバーに)
  - (6) ブラウザー(Edge)の改善
    - ・Google Chromeからの移行に対応、お気に入りのURL編集が楽に、PDFの注釈機能の改善 等
  - (7) セキュリティ(Windows Defenderの改善)
    - ・コントロールされたフォルダーアクセス(ランサムウェア対策: 勝手に暗号化できないように設定可能)
    - ・Windows DefenderのExploit Protection(EMET: 脆弱性緩和ツールの標準搭載)
  - (8) その他
    - ・バッテリーモード変更の簡易化(パワー優先、バッテリー優先)
    - ・電卓アプリの通貨換算機能、新フォント(UDデジタル教科書体)搭載、「設定」の強化 等
3. 「Windows 10 Fall Creators Update」の主な評判
  - ・新機能が多いが、全くの新機能となるものは少なく、従来の機能を強化したものがほとんど。
  - ・従来のWindows 10の不満点が解消され、より使いやすく、洗練されたバージョンというイメージ。